

日本学術会議主催学術フォーラム

米国科学技術政策の転換、 その影響を考える

令和7年

10/5日
13:00 ~ 17:00

米国の科学技術・学術政策は今年に入って大きく変動しています。環境政策、保健衛生政策の変更に伴い、米国海洋大気庁（NOAA）などでのデータ配信の停止や、米国衛生研究所（NIH）における研究の縮減、ファンディングの凍結が行われました。アメリカ航空宇宙局（NASA）、米国国立科学財団（NSF）などでの基礎研究予算の大幅なカットが政府から提案され、議会において審議が行われています。人材育成支援や、海外の研究者の受け入れに消極的な方針が示され、研究者の米国外への移動が今後本格化するかもしれません。

このような米国の政策の変化は、なぜ起こり、我々はそのから何を学ぶことができるでしょうか。日本をはじめ世界の科学研究、さらに環境、安全にどのような変化が起こるでしょうか。本シンポジウムでは、米国の科学技術政策のこれまでのを俯瞰した上で、日本と世界の科学技術・学術研究が受けるインパクトを洞察し、日本の研究が備えるべき視点を考察します。

ハイブリッド開催

会場

日本学術会議講堂

東京都港区六本木 7-22-34

×

Web

リモートで

申込み <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0330.html>

申込み締切 9月30日(火) 事前参加登録をお願いします



プログラム

演題・演者等	司会 中村 征樹（日本学術会議第一部会員／大阪大学全学教育推進機構・教授）
13:00 ~ 13:05	開会挨拶 西條 正明（文部科学省科学技術・学術政策局長）
13:05 ~ 13:10	開会挨拶・趣旨説明 野尻美保子（日本学術会議連携会員／大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 教授）
13:10 ~ 13:40	話題提供 1:「トランプ政権下の米国の科学技術政策の動向」 遠藤 悟（元日本学術振興会職員）
13:40 ~ 14:10	話題提供 2:「米国研究大学のこれまでと抱える課題」 阿曾沼明裕（東京大学大学院教育学研究科・教授）
14:10 ~ 14:40	話題提供 3:「日本と米国の科学技術政策の今後－第7期科学技術・イノベーション計画をめぐる議論から」 杉本 舞（日本学術会議連携会員／関西大学社会学部・教授）
14:40 ~ 15:10	話題提供 4:「米国の科学技術政策の変容と人文学・社会科学」 福本江利子（東京大学大学院総合文化研究科・講師）
15:10 ~ 15:25	休憩
15:25 ~ 16:55	パネルディスカッション 話題提供 科学研究の価値と社会 「米国における大型科学計画」 常田 佐久（日本学術会議連携会員／千葉工業大学 天文学研究センター・所長） 「生態学・生物多様性科学」 北島 薫（日本学術会議第二部会員／京都大学大学院農学研究科・教授） 「地球環境観測」 谷本 浩志（日本学術会議連携会員／国立環境研究所地球システム領域・領域長） 「感染症」 小柳 義夫（日本学術会議連携会員／京都大学国際高等教育院・特定教授） コーディネーター 標葉 隆馬（日本学術会議連携会員・若手アカデミー副代表／慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科・准教授）
16:55 ~ 17:00	閉会挨拶 標葉 隆馬（日本学術会議連携会員・若手アカデミー副代表／慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科・准教授）
17:00	閉会

主催 日本学術会議

後援 生物科学学会連合、日本宗教研究諸学会連合、日本地球惑星科学連合、日本哲学系諸学会連合、科学技術社会論学会、日本天文学会、日本物理学会、日本学術振興会、国立研究開発法人科学技術振興機構、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所、高エネルギー加速器研究機構、国立環境研究所、自然科学研究機構国立天文台

問い合わせ 日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当 Tel 03-3403-6295